

しょうがいしゃけんりじょうやく 障害者権利条約



しょうがいしゃけんりじょうやく すべ しょうがいかた じんけんおよ 基本きほんてきじゆう 自由と認め、社会のいちいん 一員として ぞんげん 尊厳をもって せいかつ 生活する ことを 目的と しています。

この条約では、しょうがいのとらかた 捉え方として、「医学いagak モデル」ではなく、「社会しゃかい モデル」の考え方がはんえい 反映されています(平成18年 国連総会 で採択 / 日本は平成26年 批准)。

Check! しょうがいのとらかた 捉え方

しょうがい いagak 障がいの医学モデル

しょうがい 個人 こじん の じんしん 心身機能 や びょうき 病気、 がいしやう 外傷 などに 起因する

こじん もん だい 「個人の問題」と捉える考え方

しょうがいしゃけんりじょうやく はこちらを反映

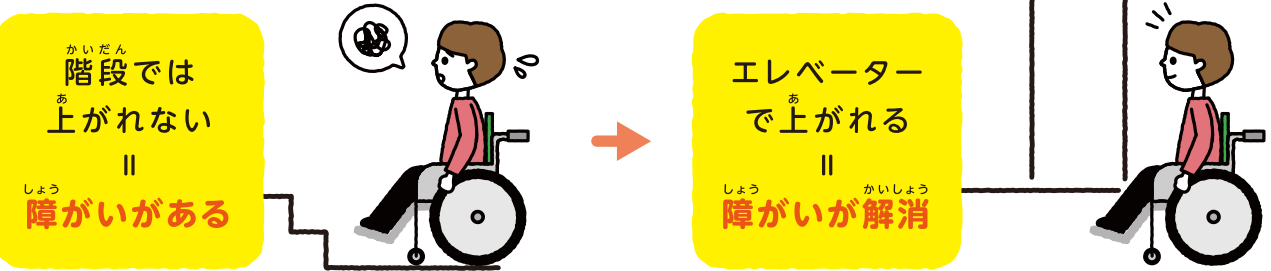
しょうがい しゃかい 障がいの社会モデル

しょうがいのある方にとって、 にちじゆうせい 日常生活 または しゃかいせい 社会生活を 営む うえで

しょうがいのある方にとって、 障壁(社会的障壁)となるものを「障がい」と捉える考え方

条約では、しょうがいは、かわりうるものであり、しょうがいがある方と、かんきやう 環境による しょうがいの障壁・まわりの人たちの態度との間の「相互作用」に起因するものとされています。

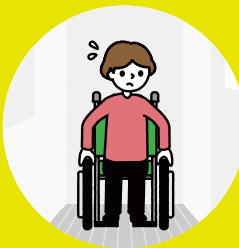
条約の内容を受け、国内での法整備にあたっては、「社会モデル」の考え方が反映されました。



Check! しゃかい てきしょうへき 社会的障壁(バリア)の例

じぶつ しょうへき 事物の障壁(バリア)

くるまい すりようしゃ 車椅子利用者にとっての だんさ 段差や しかくしょう 視覚障がい者にとっての 点字ブロックの な ほどう 無い歩道などの物理的な しょうへき 障壁(バリア)



せいど しょうへき 制度の障壁(バリア)

しょうがいを理由として利用を断ったり、制限したりするなどの せいどめん 制度面での しょうへき 障壁(バリア)



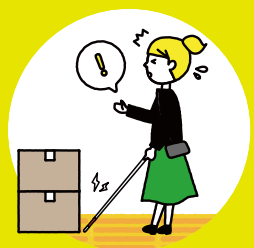
かんこう しょうへき 慣行の障壁(バリア)

しょうがいのある方の存在を 意識していないために、 しゃわつやく 手話通訳や じまく 字幕、 点字などの じょうほう 情報保障が 不十分で、 ぶんか 文化に 親しめな かつたり、 じょうほうめん 情報面で 制約されたりするなどの しょうへき 障壁(バリア)



かんねん しょうへき 観念の障壁(バリア)

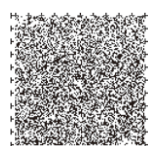
しょうがいのある方は大変「可哀想」などの へんけん 偏見や 無理かい 無理解、 むかんしん 無関心といった いしきじやう 意識上の しょうへき 障壁(バリア)



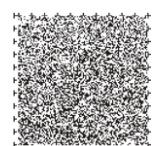
※これらの他、しょうがいのある方の日常生活、社会生活上の障壁となるものは全て社会的障壁として含まれます。

しゃかい てきしょうへき 社会的障壁(バリア)を解消するために

社会的障壁を解消するためには社会全体が変わっていくことが求められます。時代・環境の変化に応じて、適切なサポート・配慮を一人ひとりが考え実践していくことが大切です。



▲目の不自由な方のための音声コード



▲目の不自由な方のための音声コード